



エシカルなコープ商品



FSC®認証

世界の森林保全貢献につながるとの認められた木材製品につけられる認証マーク。



レインフォレスト・アライアンス認証

農園の家族、野生生物、環境に利益をもたらす方法で栽培されたことを意味するマーク。



有機JAS認証

一定の基準で農薬や化学肥料を使用しないでつくられた農産物とその製品につけられるマーク。



MSC認証

漁獲量や漁法、漁の時期、生態系などに配慮した漁業でとられていると認められた水産製品につけられる認証ラベル。



エコセンターで資源を生かす取り組み

宅配や店舗で回収した紙類(商品案内・牛乳パック)、プラスチック系再生資源(内袋・たまごパックなど)、PETボトルの異物除去や圧縮処理などの中間処理を行っています。エコセンターでは、コープあいちの特例子会社である(株)ハートコープあいちの障がいのある方10人が個性と意欲を生かし、仲間たちと助け合いながら働いています。デジタル化がすすむ中で、2024年は商品案内・OCR注文用紙の回収量が前年から2%以上減少しています。現在7割の回収率をさらに高めることが課題です。



エコセンターでの作業の様子

回収PETボトルを商品パッケージにリサイクル

容器リサイクルを目的とした店頭でのPETボトルの回収も2年目となります。2024年度は、新たに約70品目の商品の包材に生まれ変わっています。また、森づくり対象商品の、恩納村のもずくの容器包装を見直し、プラスチック削減の取り組みを広げていきます。

リサイクルしたPETボトルは、商品の軟包材として活用されます。

対象商品には下のマークが掲載されます。



回収したPETボトル

33t

2024年12月

事業所で排出した廃棄物のリサイクル

野菜くずなど	廃プラスチック	発泡スチロール
104	71	11
92.9%	86.6%	68.8%
バイオガス発酵後、発電燃料に	固体燃料	建材・文具等

2030年温室効果ガス削減計画

2021年より「コープあいち環境政策2030」において温室効果ガス削減目標を2013年基準年比で40%削減→46%削減に目標を引き上げました。省エネ機器の導入、再生可能エネルギーの利用など積極的に取り組んでいきます。

[事業でのCO₂排出量(2024年度)]

年度	2023		2024	
	排出量(t)	排出量(t)	前年差(t)	前年比
コープ宅配事業	4,320	4,450	130	103%
店舗事業	4,317	3,910	▲407	91%
福祉事業	364	368	4	101%
本部・生活サービス	280	274	▲6	98%
コープあいち合計	9,281	9,003	▲278	97%